

新潟市代表团 姉妹都市提携 50 周年ハバロフスク市訪問報告

新潟市議会議長 高橋 三義

2015 年 4 月，新潟市はロシア・ハバロフスク市との姉妹都市提携 50 周年を迎えた。

今年は両市において様々な 50 周年記念事業が企画されており，その一環として，7 月 21 日から 25 日までの日程で，篠田市長，能登谷参事，夏目国際課長，宮島国際課係長（通訳）とともに新潟市の代表团としてハバロフスク市を訪問してきたので，その概要を報告する。

1 訪問日程 7 月 21 日（火）～25 日（土）

- 7 月 21 日（火） 新潟空港発
ハバロフスク空港着
- 7 月 22 日（水） 50 周年記念式典（ハバロフスク市文化会館）
アイスホッケーアリーナ，治水事業 視察
「新潟の食 試食プロモーション」視察
- 7 月 23 日（木） 新型特区「ハバロフスク」視察
「アヴァンギャルド」工業団地視察
在ハバロフスク日本国総領事館表敬
ビール工場「バルチカ」視察
50 周年記念市長招宴
- 7 月 24 日（金） アムール川鉄橋博物館視察
総合スポーツセンター「オリンピヤ」視察
新潟市スポーツ団トレーニング見学
夕食会（在ハバロフスク日本国総領事主催）
ハバロフスク駅発（鉄道・車中泊）
- 7 月 25 日（土） ウーゴリヤナ駅到着 ～専用車で空港へ移動
ウラジオストク空港発
新潟空港着

2 概要及び所見

今回の訪問は，極東ロシアと新潟空港を結ぶ直行チャーター便を利用し，この夏の運行初便となる 7 月 21 日に新潟空港を出発した。

約 2 時間でハバロフスク空港に到着，ソコロフ・ハバロフスク市長自ら空港で新潟市代表团をお出迎えいただいた。

バスで市街地へ移動する途中の目抜き通りには新潟市との姉妹都市 50 周年を祝う横断幕が掲げられており，代表团を歓迎してくれた。

○ 50周年記念式典

ハバロフスク市文化会館において、姉妹都市提携50周年記念式典が開催され、新潟市代表団とスポーツ団（新潟市選抜新体操チーム）が出席した。



式典では、ソコロフ・ハバロフスク市長から歓迎の言葉と50周年を迎えた両市の関係発展を期待する挨拶があり、篠田市長からも「姉妹都市提携宣言の調印から半世紀、両国関係が厳しい時期にあっても、新潟市とハバロフスク市との間では経済・文化・観光・環境・教育など様々な分野で着実な交流が行われ、相互理解と協力関係の発展に向けた取り組みがなされてきた。これまでに先人たちが築き上げた『交流の歴史』『信頼関係』という財産を、今後にしっかり引き継いで、姉妹都市交流のさらなる発展につなげていきたい。」と挨拶した。

また、サフコフ・ハバロフスク市議会議長の挨拶に続き、私からも、姉妹都市の関係が両市の市民交流を発展させ、50年の長い時間をかけて強い絆、真の友好関係を築いてきたことについて、ハバロフスク市の皆さんへ感謝の気持ちをお伝えした。

続いて、両市が環境保護・文化・スポーツ・教育・観光の分野における協力関係の拡大や各分野における経済協力の促進にかかる支援を行うこと、両市間の定期航空路の再開及び相互の観光客増加に向けた取り組みに努めること、また、経済関係者の協力拡大のためビジネスミッション・実務会議・見本市・プレゼンテーションの企画及び実施を促進することなどを確認し、両市長がこれを合意したことを記した『新潟市とハバロフスク市の協力拡大にかかる覚書』に調印した。



（写真）覚書を取り交わす両市長



(写真) 左から

(ハバロフスク市) サフコフ議長, ソコロフ市長
(新潟市) 篠田市長, 高橋議長

記念式典終了後、ハバロフスク市内のエロフェイ・アイスホッケーアリーナ、それから市街地を流れるアムール川の堤防建設・拡張工事現場を視察した。この工事は、2年前の洪水被害を踏まえての対策であり、担当者からの施工概要の説明を受けた。

○ 新潟の食 試食プロモーション

ハバロフスク市内の映画館を会場に「新潟の食 試食プロモーション」が開催され、その様子を視察した。

白根の凧やテッポウユリの花が飾られた会場の試食コーナーには、色よく茹でられた枝豆やトウモロコシ、完熟の桃やミニトマト、新鮮な胡瓜、ル・レクチェのジャムやイモジエンヌのペーストなどが並び、訪れたハバロフスク市民の人だかりが出来ていた。

会場を訪れたハバロフスク市民には、特にトウモロコシ（スイートコーン）が好評だったようだが、「新潟の食」を楽しんでもらい関心を持っていただいた。

今後、ハバロフスク市に発信した新潟市の食文化が、観光や経済交流の発展に活かされることを期待したい。



(新潟の食 試食プロモーション)

○ ハバロフスク市の「新型特区」視察

新潟市は農業分野において国家戦略特区に指定されているが、今年、ロシアでも極東開発のために新型特区（先行社会経済発展区）が設置され、ハバロフスク地方も工業の分野で承認された。

新型特区は、規制緩和や税制上の優遇措置（法人税の減免や、固定資産税の免除、社会保険料の減額等）を受けることができ、投資家にとって有利なビジネス環境が整備されている。

今回視察させていただいたハバロフスク市の工業団地「アヴァンギャルド」では、日ロ合弁企業「JGCエバーグリーン」が出資して野菜の温室栽培事業に携わるということで、ハバロフスク市としても、今後、更なる日本企業の進出、特に新潟県・市の企業進出に大きな期待を寄せていることが伺われた。

○ 総領事館表敬訪問

在ハバロフスク日本国総領事館・山本総領事を表敬訪問した。

山本総領事からは、「新潟とハバロフスクとの長年にわたる姉妹都市交流が大きな成果を上げていることについて、高く評価している。定期航空路の再開と観光交流を含む更なる協力関係の発展を期待している。今が経済交流のチャンスではないでしょうか。」との言葉をいただき、今回の50周年記念イベント、『新潟の食プロモーション』の様子をはじめ新潟市からの代表団訪問について、総領事館のホームページ、ブログで大きく紹介していただいた。

○ アムール川鉄橋博物館視察

ハバロフスク橋とも呼ばれるアムール川鉄橋は、アムール川にかけられた最初の鉄橋として1916年に完成し、当時は世界最長の鉄橋だった。その後、1998年に現在のアムール川鉄橋が完成し、シベリア鉄道と幹線道路との併用橋（2層式）として活用されている。

アムール川鉄橋博物館は、かつてのアムール川鉄橋の一部が利用されており、鉄道車両が屋外展示されているほか、鉄橋や鉄道トンネルの建設資料（写真、設計図）、模型等が展示されていた。

新潟市秋葉区の「新津鉄道資料館」と同様に鉄道の歴史を学ぶことができる施設であり、今後、両市において鉄道に関する交流も検討してはどうかという提案がなされた。



(写真) 上部は、かつての鉄橋

○ 総合スポーツセンター視察及び新潟市スポーツ団トレーニング見学

スポーツセンター「オリンピヤ」を視察し、新潟市スポーツ団（新体操）のトレーニングを見学させていただいた。「オリンピヤ」は新体操の専用訓練施設であり、3歳児からトレーニングが行われている。

新潟市選抜新体操チームの皆さんは、新体操の本場ロシア・ハバロフスクの選手たちと一緒に指導を受けてトレーニングを積んでいたが、一流の技術を習得しただけではなく、すばらしい友情も得て大きく成長したものと、今回のスポーツ交流を喜ばしく思っている。



3 終わりに

今回は新潟市代表団の一員として訪問させていただき、ソコロフ市長をはじめハバロフスク市の皆さんから、たいへん心温まる歓迎を受けた。これも、50年にわたる歴史の中で交流を続けてこられた方々や交流を支えてこられた関係各位の御尽力の賜物であり改めて敬意を表するとともに、新潟市との交流拡大に対する期待が大きいことを実感している。

新潟市議会とハバロフスク市議会とは、2013年5月に「友好交流に関する覚書」を交わしており、両市の様々な分野での交流発展に繋がるよう、新潟市議会としてもその役割を果たしていかなければならないと思っている。

最後に、今回の代表団に参加させていただいたことに感謝し、簡単ではあるが報告とさせていただきます。